

同窓会ホームページでは、今までに著名な10人の卒業生の方々の足跡や業績を紹介してきました。



## 岡崎 嘉平太 (大正5年卒)

創立110周年記念公演 (昭和59年)

明治44年県立岡山中学に入学。第一高等学校、東京帝国大学を卒業後、日本銀行に入りドイツにも駐在。第二次世界大戦後、公職追放の身となるものの、その後、全日本空輸へ入社。

厳しい労使紛争のなか企業の再建に取り組むなど日本の民間航空事業の発展に貢献しました。

岡山中学時代に中国からの留学生と交わり中国に深い関心を寄せ、第一高等学校在学中に日中友好の決意を固め、生涯にわたって両国の友好に尽くしました。戦後、日中の国交が途絶えた時代に貿易の発展を通じてその回復を願い、日中覚書貿易の中心的役割を果たし、国交回復の実現に導いてきたことは特筆すべきことです。そして戦後百回にもものぼる訪中を通じて両国の交流と繁栄を願い、周恩来総理とは厚い友情の絆を結びました。



## 仁科 芳雄 (明治43年卒)

創立75周年記念公演 (昭和24年)

東京帝国大学電気工学科を首席で卒業後、(財)理化学研究所(理研)に入り、その後欧州各国へ留学し、デンマークではノーベル賞受賞者で量子論の創始者、ニールス・ボーア博士の指導を受け、「クライン-仁科の公式」を完成して世界的に有名になりました。

昭和6年から理研を拠点に宇宙線研究、原子物理学の研究を進め、サイクロトロン建造に着手しました。広島市に「新型爆弾」が投下されると、政府調査団の一員として現地へ赴き、爆弾投下による被害を調査した結果、原子爆弾であると断定、政府に報告しました。

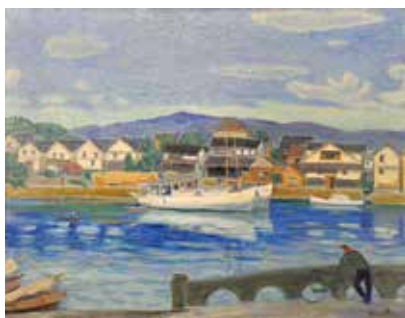
戦後は国内の科学研究の振興に尽力し、日本学術会議第1期副会長に就き、昭和21年には文化勲章を受章。原爆調査も一因であるように言われていますが、昭和26年、60歳で亡くなりました。

他に8名の方を紹介しています。同窓会ホームページ <https://www.asahikou.com/> →「資料室」→「人物伝」のページをご覧ください。



名前	卒年	タイトル
内田 百閒	明治40年卒業	随筆の神様
大賀 一郎	明治34年卒業	最古の花「大賀ハス」で有名
薄田 泣菫	明治26年中退	藤村の後の一時代を築いた詩人
葉上 照澄	大正9年卒業	千日回峰行を達成した大阿闍梨
鶴見 祐輔	明治36年卒業	日本をアビールし続けた世界的雄弁家
竹田 喜之助	昭和16年卒業	糸操り(いとあやつり)人形師
森谷 司郎	昭和26年卒業	映画監督
松原 三五郎	明治13年転出	岡山洋画界の "草分け"

## 所蔵作品の修復 朝日高校「資料館」より



「備南風景」(91.2×116.9cm)

同窓会の母校支援を受け、朝日高では柚木久太氏(明治39年卒)の油彩画「備南風景」を修復しました。同絵画は創立80周年記念の美術展に出品された後、同氏から寄贈された作品です。昨年、岡山県立美術館主催の特別展示「柚木玉郎・久太・祥吉郎-柚木家三代の絵画と精神」(6月22日～8月26日)に出品されました。しかし、その過程で、予想外に傷みが進んでいることが判明、同展終了後すぐに修復に入り、本年3月に完了、以前と同じように校長室に飾られています。

現在、県立美術館において「竹内清展」(10月4日～11月6日)が開催中で、本校所蔵の同氏作の「夜景」が展示されています。この油彩画は同窓会の方々の支援によって、平成25年、最初に修復された作品です。

書道作品を中心に修復が必要な作品はまだ残っております。今後ともご支援のほどをお願いします。



修復途中の状況  
左側洗浄前、右側洗浄後